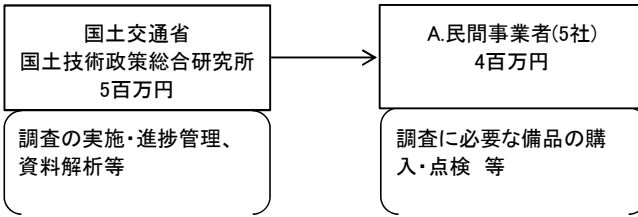


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	内湾域における里海・アピールポイント強化プロジェクト	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)	担当課室	海洋環境研究室	室長 古川 恵太		
会計区分	一般会計	上位政策	技術研究開発を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沿岸域と水辺の環境の係わりについて、生物・環境の両面から概念的に繋がりが理解できる概念モデルを構築するとともに、アピールポイントのあり方について整理を進め、その評価手法の確立、市民が主体的に参加できる活動メニューの構築を通して、統合沿岸域管理としての全国海の再生プロジェクトを推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アピールポイントのあり方の検討、評価手法の確立、住民参加のメニュー作りのため国内外の沿岸域再生の方向性の整理、実施例に関するヒアリング、生物・環境のモニタリング手法の開発、地域住民参加の社会実験を通して実践的に検討を行った。					
実施状況	20年度においては、東京港の調査場所において、調査6回、社会実験5回を行うとともに、海外事例の収集を1回行った。 21年度においては、東京港の調査場所において、調査6回、社会実験2回を行うとともに、海外事例の収集を1回行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	13	5	5	
	執行額	-	13	5		
	執行率	-	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出状況については、要求書の提出の都度、部長への報告により把握している。 東京港における調査は、限られた予算の範囲で効率的且つ効果的な執行を行うため、外注ではなく、直営で実施している。				
	見直しの余地	本事業に対する国総研研究評価委員会の評価結果を踏まえ、研究課題の目的、研究の成果と活用方針、研究体制等の観点から事業内容についても見直しを行うなど、効率的な予算執行に努めていくこととしている。 なお、調査実施に際して、東京港における調査は、限られた予算の範囲で効率的且つ効果的な執行を行うため、外注ではなく、直営で実施するといった取組を進めてきたところであり、引き続き、研究水準を維持しつつ可能な限り、コスト縮減を図る。				
予算監視の・効率化						
補記	【予算科目】					
	030 技術研究開発推進費					
	01-13 社会資本整備関連技術の試験研究等に必要経費					
	086 内湾域における里海・アピールポイント強化プロジェクト (21年度予算額) (21年度決算見込み額)					
	13054-2129-06 諸謝金 36千円 36千円					
	13054-2122-08 試験研究旅費 364千円 364千円					
	13054-2122-08 外国旅費 394千円 394千円					
13054-2122-08 委員等旅費 170千円 170千円						
13054-2123-09 試験研究費 4,397千円 4,397千円						
※少額のため、千円単位						

【随意契約】



旅費
1百万円

諸謝金
36千円

※少額のため、千円単位

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.千代田サービス工業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	資料保管庫	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

A.民間事業者(5社) 4百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	千代田サービス工業(株)	1
2	(株)池田理化	1
3	ワイエスアイ・ナノテック(株)	1
4	JFEアレック(株)	1
5	三洋商事(株)	0
6		
7		
8		
9		
10		